

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日：2012年11月28日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) カブシキガイシャ ファミリーマート</p> <p style="text-align: center;">株式会社ファミリーマート</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 株式会社ファミリーマート</p> <p>所在地： 〒170-6017 東京都豊島区東池袋 3-1-1</p> <p>部署名： 社会・環境推進部</p> <p>役職名：</p> <p>氏 名： 笹原利恵子</p> <p>TEL： 03-3989-7757 FAX： 03-5954-5599</p> <p>E-Mail： r-sasahara@family.co.jp</p>
ホームページ	http://www.family.co.jp
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>フランチャイズ・システムによるコンビニエンスストア事業</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

We Love Green 商品（環境配慮型商品）によるカーボン・オフセットキャンペーン
環境省基準のカーボン・オフセット認証（認証番号CO2-0002）

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
 会議・イベントオフセット
 自己活動オフセット
 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】 3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

算定範囲と同じ

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】 2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外
2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有
2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

2012年8月14日～8月27日

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

http://www.family.co.jp/campaign/carbon_offset2012/index.html

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

環境配慮型プライベートブランド「We Love Green」商品の原料から製造、廃棄までの温室効果ガス排出量（391トン）

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1.002 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ

✓ その他（具体的に 環境配慮型プライベートブランド「We Love Green」の日用品商品 35 種類の製造時におけるGHG（温室効果ガス）排出量を被災地域における森林整備事業から排出されるJ-VERを用いてオフセットいたします。）

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

J-VER 被災地オフセットクレジット

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

釜石地方森林組合による集約化施業（森林整備活動）を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～（プロジェクト登録番号 0034）

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

無効化完了日 2012年11月30日

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

社内報、社内web情報、アニュアルレポート、へ掲載することにより社内3000人と10万人のスタッフの協力が得られた。

2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

環境配慮型プライベートブランド「We Love Green」商品による今回のカーボン・オフセットは、被災地オフセット・クレジットの活用によるものです。被災地で創出されたJ-VERを活用することで、被災地のつながると考えます。
また多くの方が、利用する身近なコンビニエンスストアで、商品によるオフセットを実施することは、多くの方にカーボン・オフセットの取組みを告知でき、お客様が商品を購入する、という行為（活動）で気軽に温暖化防止に参加することができます。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

岩手県の釜石市・大槌町では、総面積の94%を森林が占めており、林業が主要な産業となっています。しかしながら近年、木材価格が低迷し、それが伐採跡地の森林の更新を困難なものにしており、森林所有者の山離れ、林業従事者の減少という問題が発生しています。本プロジェクトは、J-VER制度を活用することで、森林が有する生態系サービスによる森林の価値の向上及び森林管理の適正向上を行い、J-VERの販売により経済原則に則った地域の雇用の拡大を実現します。これらを通じて、対象流域の生態系サービスを促進することによる森林の多面的機能の向上を最終目標としています。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

今回のキャンペーンは全国の店舗（約9000店舗）において、環境配慮型プライベートブランド「We Love Green」商品の売り場やレジ液晶画面において、お客様に対し告知POPを掲出し訴求しました。（別添のPOP、写真画像を参照してください。）

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

多くの方が利用する身近なコンビニエンスストアで、商品を購入するということでカーボン・オフセットに参加できることは、カーボン・オフセットの普及と参加への垣根を低くしていると考えます。また、同様のカーボン・オフセットは3回目、前回は2011年9月に実施しています。継続的に実施していくことで、多くの消費者を巻き込んで、温暖化対策に取り組んでいきます。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックス7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp